

A1258	コキ60000 コンテナなし 2両セット	予価:3,850円(本体価格3,500円)
		JANコード:114278 カートン内入数:24
A3150	コキ10000登場時(旧規格コンテナ対応) コンテナなし 2両セット	予価:3,850円(本体価格3,500円)
		JANコード:103630 カートン内入数:24
K0001	国鉄旧規格コンテナ 5個セット	予価:1,540円(本体価格1,400円)
		JANコード:802472 カートン内入数:24

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上) 2両用紙ケース入り(A1258,A3150) プリスターパック入り(K0001)

実車
1950年代、国鉄では貨物列車の更なる高速化が企画され10000系貨車が開発されました。現在よりも小型の国鉄第一種コンテナが積載可能で、車掌室の無いコキ10000は5個積載可能でした。後にコンテナの規格がより大型な第二種に移行すると、コキ10000は4個積に改造されましたが、デッドスペースが生じることや特殊な走り装置により運用に制限があり徐々に活躍の場を狭め、後継のコキ100系に置き換えられる形で1996年に全車が運用を終了しました。
コキ60000は国鉄が1984年から1985年にかけてコキ50000と同等の積載能力、走行性能とするためにコキ5500を延長改造して製作されました。20ftコンテナが積載できないため、コキ50000との完全な共通運用はできず、運用には制限がありました。1987年4月のJR移行では127両全車が日本貨物鉄道(JR貨物)に承継されましたが、積載能力や高速性能が向上したコキ100系コンテナ車の投入が本格化すると淘汰の対象となり、1997年度までに全車が廃車されました。

商品概要
・マイクロエース貨車シリーズの更なる充実
・コンテナ貨車2種と積荷用のコンテナを新たにラインナップ

コキ5500を延長改造！コキ50000と共に活躍したコンテナ車



Photo:新井 泰
製品にコンテナは付属しません

- ボディ新規作成
 - コキ50000との差異を再現
 - ・10tコンテナ用緊締装置が無い
 - ・側面の斜面部が長い
 - ・側面の3つの穴の位置、形状
 - ・上面の穴の形
 - 国鉄/JR5tコンテナの積載に対応
 - 部品共用のため一部の台車ディテールや配管形状など一部実車と異なります
 - 赤3号(赤茶色)の車体色
- ※走行には別途機関車が必要です JR貨物承認申請中
- 編成図 A1258 コキ60091 コキ60040

コンテナなしもラインナップ！ダークブルーのコンテナ車



Photo:MA
製品にコンテナは付属しません
写真は試作品です

- 1960年代、現在規格より小型の国鉄第一種コンテナに対応した5個積時代を再現
 - 側面に管理局「東」、常備駅「汐留駅常備」を印刷
 - A3158/59・コキ10000系コンテナ車の長編成化に好適
 - K0001・国鉄旧規格コンテナ積載可能(別売)
- ※走行には別途機関車が必要です JR貨物承認申請中
- 編成図 A3150 コキ10041 コキ10056

色とりどり懐かしの「国鉄コンテナ」



※イラストはイメージです。

- 現在規格よりも小型だった国鉄第一種コンテナのセット
 - 5000型×1、6000型×3、R11型×1を同梱
 - 5000型、6000型は退色や汚れをイメージし、微妙に異なる色調で塗り分け
 - 同時発売予定のA3150に積載可能
- ※A1258にも積載可能ですが時代設定が異なります

オプション	なし
付属品	反射板(A1258のみ)